

令和5年 豊後大野市教育委員会 7月定例会 議事録

1 開催日時

令和5年7月31日月曜日 午前9時00分開会 午前10時15分閉会(1時間15分)

2 開催場所

豊後大野市役所 2階 教育委員会室

3 出席者

委員 4名中3名出席

(出席委員等)

教育長 下田 博

1番委員 三浦 絵里奈

3番委員 江嶋 真朋子(教育長職務代理者)

4番委員 渡部 稔

(欠席委員)

2番委員 妻城 久子

事務局 4名出席

(出席)

教育次長 後藤 樹代文

学校教育課長 日浦 賢一

社会教育課長兼図書館長 岡部 司

資料館長 高野 弘之(社会教育課参事 兼)

(欠席)

学校給食共同調理場長 赤嶺 真一(学校教育課参事 兼)

書記 1名出席

学校教育課課長補佐兼教育総務係長 衛藤 幸司

4 諸報告

教育長報告

各課報告

5 付議事項等

議事案件

報告第9号 令和5年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査結果について

報告第10号 令和5年度大分県学力定着状況調査結果について

議事案件

議案第41号 今後の幼児教育の在り方について

議案第42号 令和6年度使用小・中学校教科用図書の採用について

6 会議の概要

○出席者報告

後藤教育次長	それでは、委員の皆さんお揃いですので、出席者の報告をさせていただきます。出席委員3名、欠席委員1名、教育長、教育委員会事務局は、4名の出席です。本日は、報告事項2件、議事案件2件をご提案させていただきます。また、その他で4件の確認をお願いいたします。尚、本日は、終了後に人権研修を行いますので、よろしく願いいたします。それでは、下田教育長、お願いいたします。
--------	---

1 開会

下田教育長	おはようございます。それでは、ただいまより令和5年7月定例会を開会いたします。 (午前9時開会)
-------	---

2 前回議事録の承認

下田教育長	それでは、会議規則第六条第一項第2号の規定に基づき、6月23日開催の6月定例会の議事録の承認を求めます。議事録は、事前に送付いたしましたので、説明を省き、承認手続きをいたします。議事録についてご質問を受けたいと思いますが、何かございますか。
全委員	… 委員一同質問なし …
下田教育長	よろしいですか。それでは6月定例会を承認することに異議ありませんか。
全委員	… 委員一同異議なし …
下田教育長	異議なしと認め、承認します。

3 議事録署名委員の指名

下田教育長	続いて会議規則第十七条第二項の規定に基づき、本会議の議事録署名委員の指名を行います。3番江嶋真朋子委員を指名します。
江嶋真朋子委員	… 指名委員の了承 …

4 会期の決定

下田教育長	次に会期の決定であります。付議事項等勘案致しまして、本日1日限りとしたいと思いますが、異議ありませんか。
全委員	… 委員一同異議なし …
下田教育長	異議なしと認め、本日1日限りといたします。

5 諸報告

(1) 教育長報告

下田教育長	それでは、諸報告に入ります。私の方から報告をさせていただきます(教育長から令和5年7月豊後大野市教育委員会定例会資料から[LGBT]について報告)
-------	---

(2) 各課報告

下田教育長	それでは、各課の報告を致します。次長、お願いします。
後藤教育次長	(令和5年7月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告する) 続いて、学校教育課長が資料を基に報告。 続いて、社会教育課長が資料を基に報告。(含:図書館) 続いて、資料館長が資料を基に報告。 (公民館については、資料書面での報告。)
下田教育長	ご質問ございますか。
全委員	… 委員一同質問なし …
下田教育長	諸報告について、終了致します。

6 付議事項等

○議事案件

報告第 9号 令和5年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査結果について

報告第10号 令和5年度大分県学力定着状況調査結果について

○議事案件

議案第41号 今後の幼児教育の在り方について

議案第42号 令和6年度使用小・中学校教科用図書の採用について

下田教育長	それでは、報告第9号令和5年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査結果について、お願いいたします。
日浦学校教育課長	私の方からは、豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査結果についてご報告いたします。 (令和5年7月豊後大野市教育委員会定例会別紙資料で説明)
下田教育長	ご質問ございますか。
全委員	… 全委員質問なし …
下田教育長	それでは、報告第10号令和5年度大分県学力定着状況調査結果について、お願い

	いたします。
日浦学校教育課長	(令和5年7月豊後大野市教育委員会定例会別冊資料報告10号で説明)
下田教育長	何かご意見ございますか。
江嶋真朋子委員	全般的に、大分県の平均より低い原因というのは何なのでしょう。問題が以前より難しくなったということはないのでしょうか。
日浦学校教育課長	年によって学校によってちがってくるので、原因の特定はしづらいです。難易度については、問題の内容は変わりますが、変化をみるために同水準の問題が出されています。
江嶋真朋子委員	学校訪問等で授業を見ている限りでは、問題は感じません。ただ、大分市から異動して来た先生から、豊後大野市の中学校は宿題の量が少なく、家庭学習の時間が少ないという感想を聞いたことがあります。豊後大野市の学校では、競争相手が少ないので、子どもたちの意識もまあこの程度で良いのかなと思ってしまうのかなと思いました。
日浦学校教育課長	ありがとうございます。参考になります。家庭学習については、学校や先生によって違いがあると思います。その実態調査もしていきたいと思います。
下田教育長	資料の正答率30%未満と80%以上の割合を示した表をご覧ください。県の学力状況調査は全体の平均で数値化されています。当然、点数を取れる人が点数を取れない人をカバーすれば、平均は高くなります。豊後大野市学校教育課は、この10年間、正答率30%未満の子どもたちの学力向上に力を注いできました。表を見てもらえばわかりますように、その部分は、達成できてきました。そして、正答率80%以上の子どもたちが、30%未満の子どもたちをカバーしています。それにも関わらず、平均が上がっていないのは、正答率40%の子どもたちが多くということです。その子どもたちの正答率をさらに上げていくことがこれからの課題と言えます。この10年間の低学力層への学力向上の取り組みを評価をしていく一方で、平均値を上げていくためには、中間層の学力向上や80%以上の子の増加にも力をいれていかなければならないということです。他の市町村の中には、通塾する子どもの割合が高い市もあります。その市は、正答率30%未満の子もいますが、正答率80%以上の子の割合も高くなっており、平均値も高くなっています。そのことをどう考えるかということです。
日浦学校教育課長	教育長の指摘通り、県の学力定着状況調査の小学校の理科の正答率別人数のグラフを見ると、豊後大野市は正答率60%と80%の子が多く、県は90%の子が多いんです。その差が平均値の差になっています。
下田教育長	この正答率別人数のグラフを参考にして、どこの層に力を入れていくか考えていかな

	<p>ければならないということです、しかも各教科、グラフの傾向がちがいますから、教科別の分析が必要です。今まで通りでの分析では変わらないということですから、例えば、小学校の理科では、どの層にどのような取り組みが必要かを分析して、現場の学校へ届けてほしいと思います。ただ、忘れてならないのは、点数比べのための調査ではなく、その子にとって人生を豊かにするための学力保障のための調査ですから、もう少し分析の視点を変えなければいけないと思います。</p>
日浦学校教育課長	<p>わかりました。</p>
渡部稔委員	<p>私は、やっぱり、生徒と先生の信頼関係が重要だと思います。先生と生徒の交流ができていれば、先生の話もよく聞くとします。また、学習が苦手な子が少しでもできてほしいなと思います。平均点で見ると、できる子もできない子も混ざってしまうんですけど、できない子に注目して、1点でも2点でも上げてほしいと思います。</p>
三浦絵里奈委員	<p>グラフだけではなんとも言えません。例えば、100点近くをとる人が5人いるクラスだったら、5番以内に入るのはとっても難しいけど、そこを目指すためにすごくがんばると思います。しかし、70点くらい取って5番以内に入るクラスだったら、そこで満足してしまうのではないかと思います。現状より高いところを目指すことをもっと推しても良いのではないかと思います。それで良いんだよと認めすぎた結果が現状につながっているのではないかと思います。</p>
日浦学校教育課長	<p>学校は、子どものがんばりを子どもごとに認めています。その結果、それ以上ががんばれと言にくい体質になっています。子どもによっては、もっとがんばれという言葉かけが通用する子もいると思いますが、人権などを尊重した時に、クラスの中で一律には言にくい状況があります。そのため、個々の頑張りが、そこで止ってしまうこともあります。</p>
三浦絵里奈委員	<p>安心な居場所というのは絶対大事だと思います。しかし、その安心な居場所の居心地が良くなりすぎて、そこから出るっていうことができなくなっちゃうデメリットもあると思うので、そこから1歩出る力、闘う力みたいなものも必要だと思います。</p>
日浦学校教育課長	<p>渡部委員もおっしゃっていた信頼関係があれば、先生も1歩踏み出すことを後押しできるということですね。</p>
江嶋真朋子委員	<p>中学校は、以前、個人には順位を知らされていたのですが、今はそれも出さなくなりました。つい最近まで平均点も出ませんでした。順位を知らせることで上を目指して頑張れる子もいると思います。他との比較がないので、自分の現状で満足してしまうのかなと思いました。学校としては、少ない人数の中で順位を知らせても、そこで満足されては困るから、個々に目標点数をたてて頑張らなさいということなのだろうけど、その目標点数の設定が個々の考えで変わるから難しいと思いました。最近、平均点は、出してくれるようになったのですが、平均点と比べてもわかりにくいと思います。</p>

三浦絵里奈委員	見せてあげることって結構大事で、自分の位置がどこなのかわかることで、頑張れることも多いと思います。
下田教育長	大事なことだと思います。厳しさを見せるということも励みになるということですね。
日浦学校教育課長	日本は高校まで点数で行かなければならない社会ですので、ある程度の厳しさは必要だというご指摘かなと思います。
下田教育長	社会教育課長、昨日の国際交流での豊後大野市の中学生と韓国の中学生の話しぶりに、違いを感じませんでしたか。
岡部社会教育課長	そうですね。韓国の中学生は、平口でいうと大人っぽい考え方を持たれていると感じました。そして、結構、積極的に発言されていました。豊後大野市の中学生は、日本では、それでも良いのかなと思いましたが、韓国の中学生と比べると違いを感じました。
下田教育長	資料館長、ジオ学習の時の最近の中学生の姿はどうですか。学ぶ意欲などを感じますか。
高野資料館長	最近中学校に行っていないので、わからないのですが、小学校3年生が資料館に郷土学習に来ます。ものすごくおもしろそうにしています。しかし、4・5年生になると知らん顔をしたりする子が増えてきているような印象があります。また、いろんな予想外の動きをする子どもたちが、以前より増えている感じがします。今は、子どもたちに対して非常に細やかにケアしていくから良いと思うのですが、何が原因なのかなあという印象があります。
下田教育長	点数について分析する時に、そういう社会教育での様子や子どもたちの背景なども考慮に入れて、学ぶ意欲を高めるために、私たちがどう考えていくのかということが今後の課題になると思います。そういったいろんなご意見をいただきながら検討してください。将来の夢の実現には、最低限の学力は必要です。あの国際交流を見ていて、語学力や語彙力の違いなどを感じました。日本の中学生もしっかりしてほしいと思いました。教育の在り方に問題があるのかもしれませんが、他にご意見ございますか。
全委員	… 全委員質問・意見なし …
下田教育長	全国の学習状況調査の分析の時は、これまで出された視点で報告してください。それでは、議案第41号今後の幼児教育の在り方についてお願いいたします。
後藤教育次長	今後の幼児教育のあり方について、別紙のように決定し、その方針で年内に開始される公立幼稚園の募集等について実施する必要がありますので、豊後大野市教育委員会事務委任規則第2条第1号の規定に基づき、教育委員会のご承認をよろしくお

	<p>願いたいします。</p>
日浦学校教育課長	<p>(令和5年7月豊後大野市教育委員会定例会別紙資料で説明)</p>
下田教育長	<p>公立幼稚園は1号認定のみ対象にしており、2号認定・3号認定については公立幼稚園の関知するところではなかったもので、そこを含めて、0歳児から5歳児までをどうしていくのかを考えた時に、公立幼稚園の来年度以降の方向をご提案しました。ご意見をいただきたいと思います。</p>
江嶋真朋子委員	<p>おおのさくら幼稚園の募集停止は、残念ではありますが、ルンビニこども園の受け皿がありますので、仕方ないかなと思います。</p>
下田教育長	<p>各町の0歳から5歳までの人数分布と現状公立幼稚園に通っている数などについては資料として持っておいてください。現状を聞かれた時にすぐお答えできるようにしてください。また、10年前と比べた時の1号認定園児の状況の変化をきちんと数字で説明できるよう、町毎に個別の資料を必ず準備しておいてください。</p>
渡部稔委員	<p>幼児教育の2つの柱で、市幼児教育研究施設(仮)と書かれています。今後詳しいことが決まってくると思うのですが、この施設は、どこにも入れなかった子どもの受け入れ先ということなののでしょうか。そして、その受け入れは、認定こども園緒方保育園が行うのでしょうか。</p>
日浦学校教育課長	<p>市幼児教育研究施設(仮)は、通常、園を開園して保育をしながら、幼児教育の研究をする施設です。幼児教育も、新しいことが入ってきますので、研究が必要です。例えば、去年は、国から幼保小の連携の見直しということで架け橋プログラムという5歳児と小学校をつなぐプログラムを研究するという方針が出されました。その研究もこの研究施設で担います。どこにも入れない子どもの受け入れというのは、今でも、緒方保育園が担っている部分がありますが、東幼稚園でも同じような受け入れができないかと考えています。</p>
渡部稔委員	<p>去年の緒方町の出生数は、10名ちょっとです。緒方保育園の受け入れに余裕ができるという認識があったので、緒方保育園が受け皿になるのかなと思ってしまいました。この2つの柱の説明はわかりにくいです。この説明を読んだだけでは、意味がわかりませんでした。もう少し説明をしていただきたいです。子ども子育て会議でも聞かれると思いますので。</p>
下田教育長	<p>まず、第1の柱の東幼稚園のセーフティネットの役割というのは、緒方保育園も公的機関ですので、セットで同様の役割を持っているという認識です。そして、第2の柱の市幼児教育研究施設(仮)という表現が硬すぎるのではないかと思います。意味もわかりにくいと思います。要するに0歳から5歳児の保育・教育する全市の施設の支援をする</p>

	<p>という意味合いにしてほしいです。アドバイザーを置くというだけでなく、支援をしていく役割を豊後大野市教育委員会が担っていくという、県でいうと幼児教育センターと同じセンター化という意味合いにしてほしいです。渡部委員が指摘したように中身もわかりやすく丁寧な説明にしてください。こちらの都合ではなく、保護者や地域の方が望む方向にお答えするという表現で説明してください。</p>
日浦学校教育課長	<p>わかりました。</p>
三浦絵里奈委員	<p>この説明では、何が課題なのかが見えにくいと思います。今の現状で困っている人たちが市内全体にどれくらいいるのかとか、リアルな困りをヒアリングしても良いのではないかと思います。改革することだけが大きく見えて、現状は見えづらいなと感じています。この件に関しては、仕組みだけが先行してしまって、どんどん少子化が進む中で、課題感だけ大きくて、実際はそうでもなかったということもあるかもしれないし、もっと掘り下げてみないと本当の課題は見えないのではないかと感じています。もし、公立幼稚園を一本化するとしたら、ここ数年で生まれ通うであろう子どもたちが、実際に通う時に、どうしたら通えるのかということをお話した方が良いかと思っています。何か現状だけに向き合えばいいと、後手後手になってしまうのではないかと感じています。</p>
下田教育長	<p>いい指摘だと思います。どうでしょうか。</p>
日浦学校教育課長	<p>その辺も、子育て支援課等々と協議を重ねているところです。今ご指摘の実際に困っている方々のことなど、何件か例があります。例えば、特別支援が必要で4歳まで受け入れてもらえなかったとか、医療的ケアで酸素ボンベを常時携えての保育が必要などといったケースがあります。また、つかみ切れていないのが、一時預かりの実態です。未就園の子どもがいるのですが、就園させたいけど就園できないのかなど、他課と協議して把握していきたいと思っています。</p>
下田教育長	<p>保育士の数は把握できているのですか。保育士の数によって定員が決まるのでしょ。だからその一覧も作っておいてくれますか。各保育園・こども園の受け入れられる子どもの数を把握しておいてください。保育士の不足が私立の園の入園の妨げになっています。本当は入れたいのだけれど、できないという現実があるということです。これだけ園があるのに、保育士の不足のため、家のすぐそばの園にいけないという現実があります。その点も子育て支援課と共有しておいてください。</p>
日浦学校教育課長	<p>わかりました。</p>
渡部稔委員	<p>緒方保育園の職員は24人くらいいます。充実していると思います。</p>
下田教育長	<p>園児が少ないと収入が少なくなり、保育士を雇えません。保育士が少ないと園児をより多く受け入れられません。悪循環です。その傾向が、今、現状としてあります。また、保</p>

	<p>育士さんは、早番では、朝7時前から登園し、遅番では、夜7時を過ぎて帰り、その上、クラスの仕事を持ち帰ってやることもあります。すごい仕事量をやられているわけです。そして、園児の安全を第一に保育を行わなければなりませんし、他県で、極端な事故や事件が起こると、我が子の園では大丈夫だろうかと不安や猜疑の目を向けられるかもしれません。そういう意味でも厳しい働き方の状況にあるとも言えます。例えば、午前中だけ保育士として働くなどのいろいろな働き方のスタイルが公的機関では可能です。公的機関の柔軟な働き方のスタイル等も調べておく価値があると思います。よろしくお願いたします。ところで、豊後大野市は、待機児童や希望外通園の状況はどうなっていますか。</p>
日浦学校教育課長	<p>待機児童はいません。希望外通園については、把握しておりません。</p>
下田教育長	<p>第一希望で入園している園児の割合は、子育て支援課に聞けばわかりますよね。住んでいるところや勤めているところから遠い園しか受け入れがないけれども、入園させないと働けないという状況の方があってはならないでしょうか。今後、少子化に伴い、地元の子は地元で受け入れられる状況になるのではないのでしょうか。</p>
日浦学校教育課長	<p>勤務先に近い園を希望されているケースもあり、働き方や考え方で、いろんなケースが出てきているようです。</p>
下田教育長	<p>如何でしょう。これで、来年度以降、公立幼稚園は東幼稚園のみになるということです。言い換えると、他の園は募集停止、今後一切、募集をしないということです。その方向で行くという提案ですが、よろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>… 委員一同質問・意見なし …</p>
下田教育長	<p>それでは、議案第41号について採決をしたいと思います。原案の通り決定してよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>… 委員一同異議なし …</p>
下田教育長	<p>異議なしと認め、議案第41号について、原案の通り決定いたします。尚、今後のスケジュールと保護者への周知についてはどうしていきますか。</p>
後藤教育次長	<p>8月の(市議会議員の)全員協議会で発表しますので、9月の子ども子育て会議で報告し、10月の市報で保護者にお知らせできます。</p>
下田教育長	<p>ケーブルテレビでも、10月早々には、出演して丁寧な説明をしてください。</p>
後藤教育次長	<p>わかりました。</p>

下田教育長	続きまして、議案第42号令和6年度使用小・中学校教科用図書の採用についてお願いいたします。
後藤教育次長	竹田地区教科用図書採択協議会におきまして、小学校及び中学校の令和6年度使用教科用図書の選定結果が出ましたので、豊後大野市立小・中学校で令和6年度に使用する教科書を教育委員会で採択する必要があるため提案するものでございます。
日浦学校教育課長	(令和5年7月豊後大野市教育委員会定例会資料で説明)
下田教育長	如何でしょうか。
江嶋真朋子委員	全ての教科書にQRコードがついていて、教科書以外の学習もできる様になっていました。かなり充実した教科書に変わっていると感じました。
下田教育長	江嶋委員が採択協議会の委員として、小学校教科用図書の採択に参加し、みなさんの代表として一つ一つの教科について説明を受け、提案された教科書で良いだろうという判断をいたしました。中学校については、選定期間ではありませんが、現行の教科書で問題ないという判断をしております。それでは、議案第42号について採決をしたいと思います。原案の通り決定してよろしいでしょうか。
全委員	… 委員一同異議なし …
下田教育長	異議なしと認め、議案第42号について、原案の通り決定します。

7 その他

- ① 第14回九州地区市町村教育委員会研修大会佐賀大会について
- ② 運動会及び体育大会の日程について
- ③ 令和5年度差別をなくす市民の集いについて
- ④ 学力向上会議について

下田教育長	それでは、その他の①、第14回九州地区市町村教育委員会研修大会佐賀大会についてお願いします。
衛藤学校教育課課長補佐	(別紙「令和5年7月豊後大野市教育委員会定例会」 その他 別紙資料)で説明)
下田教育長	ご意見・ご質問をどうぞ。
全委員	… 委員一同質問・意見なし …
下田教育長	それでは、その他の②、運動会及び体育大会の日程について、お願いします。
衛藤学校教育課課長補佐	(別紙「令和5年7月豊後大野市教育委員会定例会」 その他 資料)で説明)

下田教育長	9月9日から30日まであります。ご希望の学校や日にちをどうぞ。
渡部稔委員	16日の緒方小学校をお願いします。
江嶋真朋子委員	30日の大野小学校をお願いします。
三浦絵里奈委員	9日の三重中学校をお願いします。
下田教育長	よろしく願いいたします。それでは、その他の③、令和5年度差別をなくす市民のつどいについてお願いします。
衛藤学校教育課課長補佐	(別紙「令和5年7月豊後大野市教育委員会定例会 その他 資料」で説明)
下田教育長	参加できる日がございますか。
江嶋真朋子委員	26日の緒方会場をお願いします。
下田教育長	よろしく願いいたします。それでは、その他の④、学力向上会議についてお願いします。
日浦学校教育課長	(別紙「令和5年7月豊後大野市教育委員会定例会 その他 資料」で説明)
下田教育長	この会には、先ほど報告した大分県学力定着状況調査結果の分析を参考に参加されると良いと思います。各町の方でも分析したものを送られてくるとと思います。本会での先ほどの意見交流が柱になっていけば良いのかなと思います。また、全国学習状況調査の結果も委員さんに事前にお送りしますので、参考にされてください。よろしく願いいたします。
全委員	… 委員一同同意 …
下田教育長	よろしく願いいたします。それでは、その他を終了します。

8 連絡調整

- 今後の定例会の日程調整について
- その他

下田教育長	それでは、今後の定例会の日程調整についてお願いします。
後藤教育次長	8月の定例会につきましては、8月28日月曜日午前9時から開催いたします。また、第4回臨時会につきましては、8月16日水曜日午前9時から開催いたします。9月定例

	会につきましては、9月28日の木曜日午前9時から計画しています。よろしくお願いいたします。その他の行事については、別紙のカレンダーにより確認をお願いします。以上、提案をします。
下田教育長	よろしいでしょうか。
全委員	… 委員一同異議なし …
下田教育長	よろしくお願いいたします。

9 閉会

下田教育長	ありがとうございました。それでは、本日の日程全て終了致しました。以上をもちまして、令和5年7月定例会を閉会いたします。 (午前10時15分閉会)
-------	---